

## 第14回天気予報研究会開催のお知らせ

沿岸海域、港湾内における高潮・波浪による被害を回避または軽減するため質の高い対策が求められています。第14回天気予報研究会は、沿岸波浪、高潮防災に焦点を当てて、予報技術の現状と今後の発展やそのような情報の利活用の現状等について、広く議論します。海上気象予報分野を扱う天気予報研究会は初めての試みです。

講演要旨などについては気象学会の天気予報研究連絡会のホームページに掲載します。

**日時：**2017年2月17日（金）13時30分～16時30分

**場所：**気象庁講堂（気象庁2階）

**発表題目（順不同）：**

1. 「気象庁の波浪・高潮予測モデルとプロダクト」  
高野洋雄（気象庁海洋気象課海洋気象情報室）

2. 「沿岸域での海象情報（観測や予報）の利活用」  
杉浦幸彦（いであ(株)）

3. 「道路越波の監視と予測」  
小島弘行（(一財)日本気象協会）

4. 「日本気象予報士会波浪研究会の活動」  
船曳佳弘（(一社)日本気象予報士会）

5. 「マリインレジャー業界における沿岸波浪情報の利活用について」  
関田昌広（(株)湘南 Dive.com）

**主催：**日本気象学会天気予報研究連絡会

**問い合わせ先：**下山紀夫（(一社)日本気象予報士会）  
n-shimoyama@nifty.com